

RootsXII

海の向こうに次代を創る力がある。



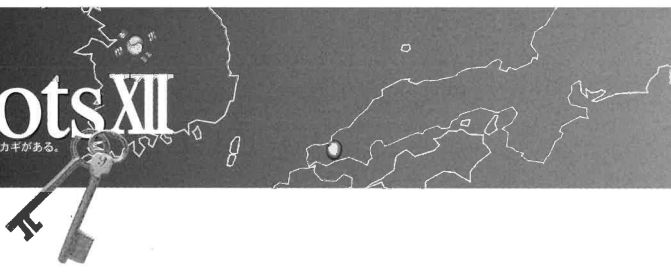
2014 百濟文化祭「参加実行委員会」 報告書

뉴아트 조소학원





山口市・公州市 姉妹都市締結20周年 記念訪問団



はじめに

山口市長 渡 辺 純 忠

この度、市民訪問団の皆様と姉妹都市である公州市を訪問することができましたことは、公州市との姉妹都市締結20周年に花を添える素晴らしい訪問となりました。まずは実行委員会の皆様、訪問団員の皆様、そして準備段階から大変な御尽力をいただきました山口市日韓親善協会の皆様に厚くお礼を申し上げます。

訪問の間、公州市内は百済文化祭の活気であふれており、市民の皆様や国内外の観光客の方々が祭りを楽しまれている様子や、百済時代の武寧王陵をはじめとする多くの歴史的遺産が大切に整備されている状況などを拝見することで、公州市民の皆様の百済文化に対する熱い思いを感じることができました。また、滞在中に御案内いただきました公州市郊外の栗の村（水車村）での餅つき体験や、村に伝わる伝統的な葬儀の儀礼を受け継ぐ「牛城面喪輿の音保存会」の御紹介など、公州市の皆様のおもてなしや心遣いは、心に残る素晴らしい体験となりました。

市民訪問団の皆様と一緒に参加しました百済文化祭パレードでは、沿道から温かい拍手と御声援を頂き、両市が姉妹都市として培ってきた友情の歴史を感じ取ることができました。また、市民訪問団のよさこいチームの皆様がメインステージで披露された「よさこい」に対して、観衆から熱い拍手をいただきましたことは、私のことのように嬉しく、山口市を大いにPRいただきましたことに感謝いたしますとともにこれをきっかけに、多くの公州市民の皆様が山口市を是非訪れていただき、「山口の祭り」も楽しんでいただきたいと強く願うものでございます。

市民訪問団の皆様には、今回の訪問を機に国際交流を身近なものと感じていただき、異国の友人と文化や言葉などの違いを越えた友情をさらに育てていただきたいと思います。

今後とも、市民の皆様が主役の国際交流の輪が広がるよう取り組んで参りますので、引き続き皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

祝 山口市・公州市 姉妹都市締結 20 周年

百済文化祭「参加実行委員会」委員長

山口市日韓親善協会 会長 多々良 健司

山口市と公州市の姉妹都市締結 20 周年事業として、よさこいの踊り手の皆様と山口市日韓親善協会の役員が中心となって構成した市民訪問団を結成し、百済文化祭に参加することが出来ました。

よさこい踊り手によるメインストリートでの演舞やステージイベントは、公州市の方々に熱狂的に受け入れられており、大きな喜びとなっております。

私ども山口市日韓親善協会は、市民「草の根」交流を続け、相互の理解を深めていくための活動を行っております。この度の百済文化祭への参加や、公州市生活体験・文化体験は、今後の親善活動を進めていく上で、大きな指標となりました。よさこいの踊り手の皆様も同じ思いであると感じております。

公州市滞在中には、公州市民の皆様手づくりの温かなおもてなしを多くの場所で受け、多くの友人を得ることが出来ました。特に、祭り期間中ということで、子どもさんからお年寄りの方まで、多くの方々とふれあい、交流が出来ました。パレードの際には、私たちの列に向かって沿道から、「ヤマグチ、ヤマグチ」と、大きな声援を幾度も幾度も貰いました。今後も、市民同士の交流がますます盛んになっていくと確信した瞬間となりました。

今回は、初めて訪韓するという参加者も多かったのですが、帰国後、「次回も参加したい」、「もっと韓国について知りたい」という声が多く聞かれました。今後も、文化や言葉を超えた交流が続いていくことを切に願っております。そして、国境を超えた国際交流の輪が広がりに続けていきますよう努力を続けて参ります。



公州市

公州市は忠清南道の中央に位置し、かつての百済王国の都として栄え、武寧王陵など多くの文化財が残る歴史・文化のまちです。また、人口のおよそ3割が学生という教育のまちでもあります。

また、公州市はアメリカ大リーグ・LAドジャースのパクチャンホ投手と女性ゴルファーのパクセリ選手の2人の世界的なスポーツ選手を輩出しました。

百済の都

百済第21代の蓋鹵王は、高句麗に攻められ殺害されます。蓋鹵王の息子の文周王が、都落ちして百済を再興したのが475年、現在の公州の地です。当時は熊津(現代読みはウンジン)と言っていました。その後、538年に、扶余に遷都されました。

西暦	期間	時代名	王政
紀元前18年～370年	388年間	河南慰禮城時代	第1～13代
370年～475年	104年間	漢山城時代	第13～21代
475年～538年	63年間	中興期熊津城(公州)時代	第22～26代
538年～660年	123年間	百済史泗批城時代	第26～31代

山口市と公州市のご縁

山口のまちづくりの祖と称される、大内氏の始祖が百済第26代聖明王の第三王子・琳聖太子であると伝えられていることから、1993年2月23日、山口市と公州市が姉妹都市になりました。

百済文化祭

百済文化祭は、韓国3大文化祭の一つで、百済の輝かしい文化と美しい伝統を継承・発展させるために、百済の古都だった公州市と扶餘郡で、1955年から1年おきに開催され、年々文化祭の規模が拡大し、2007年より両地域で統合開催されています。

第60回のテーマは 「百済！世界と出会う」

今年の百済文化祭で開催される主なイベントには、韓国最大の夜間パレードである「パレード交流王国大百済」、百済の文化コンテンツを物語形式で構成した「百済の魂、メディアファサード」、ユネスコ世界無形遺産に登録された伝統の鷹狩りが見られる「鷹狩りデモンストラーション」などがありました。

開幕式は9月26日（金）の午後4時30分から7時まで百済文化団地で行われ、閉幕式は10月5日（日）の午後6時30分から8時30分まで、公州の新官公園メインイベント会場で行われました。期間中は、扶餘郡と公州市で多彩なイベントが開催されました。

2014百済文化祭「参加実行委員会」は、熊津城パレード、主舞台に参加。

熊津城パレード

2014年9月27日（土）17：30～19：00
中洞小～中洞交差点

主舞台

2014年9月28日（日）12：00～12：30
錦江新官公園 百済文化祭ステージイベント

9/24

「山口市・公州市姉妹都市締結 20 周年記念訪問団」 出発式

市役所第 11 会議室



9/27

専用バスで福岡空港へ

市民訪問団：

10 時 30 分 福岡空港発 大韓航空 KE788

11 時 10 分 仁川空港着

公州市にて公式訪問団と合流

公式訪問団：

11 時 30 分 アシアナ航空 OZ 131 便

12 時 50 分 仁川空港着

公州市出迎え

随行・通訳

ヨン・ヒョンサン様

アンヨン・スン様

ソ・ギョンヒ様

キム・ソクホ様

チョン・ハナ様

途中、サービスエリアにて昼食（山菜ビビンバ）

16:00

韓国伝統家屋を再現した
公州韓屋（ハンオク）村
にチェックイン



17:30

熊津城パレードに参加

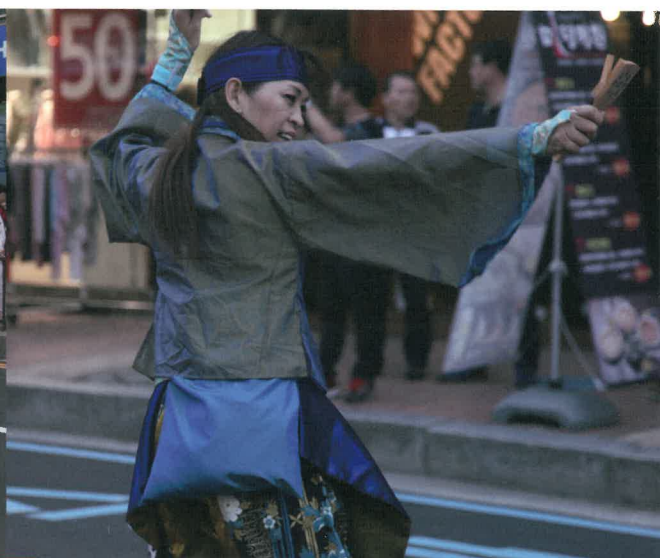
中洞小～中洞交差点

公州市から贈呈された百済民族衣装を着てパレードに参加しました。よさこいの演舞とともにパレード行進中に山口市の旗竿や観光パンフレットを持参し、本市のPRに努めました。パレードの終了地点である中洞交差点では主催者側から本市からの訪問について御紹介をいただき、手を振る訪問団に公州市民からも温かい拍手が送られました。



RootsXII

海の向こうに次代を創る力がある。



19:30

歓迎夕食会

Rivers convention

公州市の姉妹都市（熊本県和水町、フィリピン・バギオ市）の訪問団の皆様とともに出席しました。訪問団の代表者の挨拶（市長挨拶）、各議長の乾杯の挨拶がおこなわれ、公州市の関係者だけではなく、他の姉妹都市の皆様とも親しく囲んで夕食会を楽しみました。

山口市長は公州市への訪問が決まったときから、公州市を訪れ、皆様にお会いできますことをとても楽しみにしていたこと、沿道の公州市民の皆様から頂戴した温かい御声援に、今までの交流の成果が着実に実を結んでいる証として、限りない喜びを感じたこと、そして今回の訪問に際し細やかで温かいおもてなしをいただいておりますことに厚くお礼を申し上げますと、挨拶されました。



9/28

9:00

公州韓屋村にて 茶道（ちゃどう）体験

茶道の先生の御指導の元、韓国の伝統茶道を体験しました。漢字で書くと日本も茶道ですが、似ているようで異なる文化や作法の違いを感じることができました。





10:30

姉妹都市締結 20 周年記念式

公州市役所会議室

山口市からの訪問団、公州市関係者出席のもと開催されました。参加者の紹介の後、公州市長、山口市長、公州市議会議長、山口市議会議長の順で挨拶が行われました。公州市長からは、訪問への謝意と、これからも共に手を携えて友好親善を更に進めていきたい旨を伝えられ、山口市長は、公州市を訪問できたことを非常に喜ばしく感じていること、また、百済文化祭を通して公州市民の郷土愛を強く感じたこと、そして貴市の取り組みを大いに学び、市民の皆様と一緒に、より魅力ある山口市になるよう取り組んで参りたい、と伝えられました。挨拶の後は、記念品の交換が行われました。山口市からは大内人形、公州市からは螺鈿の箱が贈呈されました。

記念式の後、公州市庁前に移動し、全員で記念撮影を行いました。前庭にて記念植樹の鍬入れと両市長、議長の名前の入った定礎の除幕を行いました。記念樹としてヒメコマツが植樹されました。どんな環境にも耐え、常に青々として力強いヒメコマツの姿が両市の常に良好で力強い絆で結ばれている友好関係と重なるので、記念樹にふさわしい、という理由で選ばれました。近くには、姉妹都市締結時の記念樹もあり、両市の友好の歴史を感じることができました。

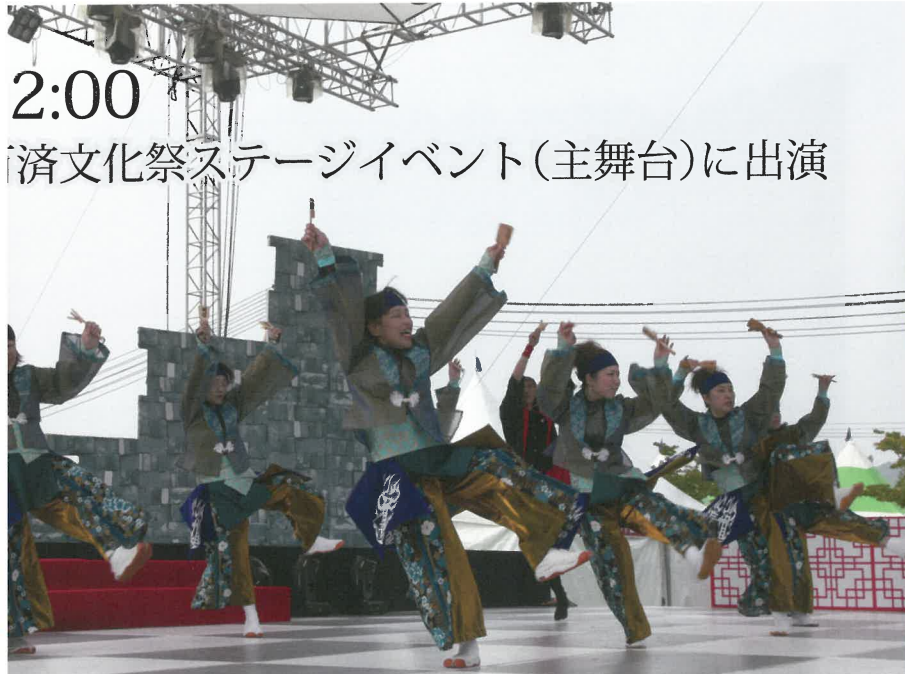
植樹後は、百済文化祭の主会場の錦江新宮公園に移動し、会場の視察と主舞台での市民訪問団のよさこい演舞を行いました。主舞台は本格的な野外舞台で市長はこのような素晴らしい会場に演舞させていただいたことは、とても素晴らしいことだと、公州市の担当者の方に伝えられました。見学後は、昼食会場に移動して昼食をとりました。料理は鶏肉をやわらかく煮込んだ鍋料理でした。



2014百済文化祭市民参加訪問団

2:00

百済文化祭ステージイベント(主舞台)に出演



14:30～17:30

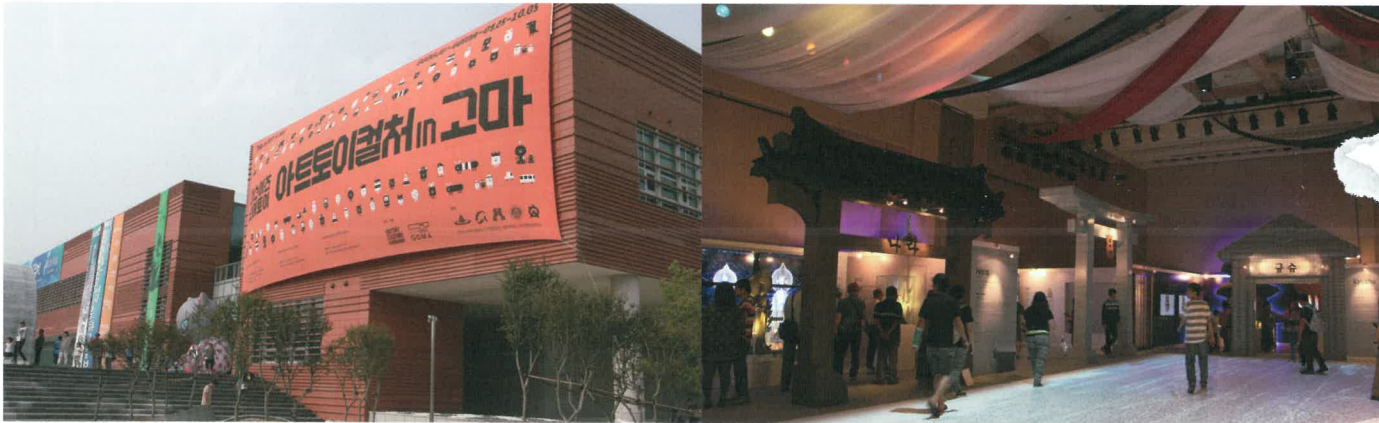
武寧王陵を見学

山口の繁栄を築いた大内氏とゆかりのある、百済の王族の遺跡を見学しました。三国時代百済の王陵の中で唯一誰のお墓なのかが明かされている王陵で、百済25代武寧王と王妃の合葬陵。武寧王陵で発掘された遺物は、合計108種4,687点にのぼっています。非常に多くの貴重な遺物が発見され、内外の多くの方が見学できるように、国を挙げて大切に保存、展示されています。



コマアートセンターを見学

昨年、オープンした展示、コンベンション、文化行事などが開催可能な複合文化施設であり、地域文化交流の活性化に寄与することを目的として建設されました。訪問時は百済文化祭関連の企画が行われており、多くの市民が訪れていました。



国立公州博物館

主に武寧王陵から出土された遺物が展示されています。又、野外展示物には大通寺址石槽、石塔、石物など重要な遺物が展示されていました。また展示物の説明には英語、中国語、日本語などの多言語で説明文が掲げられており、国外の見学者にも理解しやすいように工夫がなされていました。



18:00

夕食会

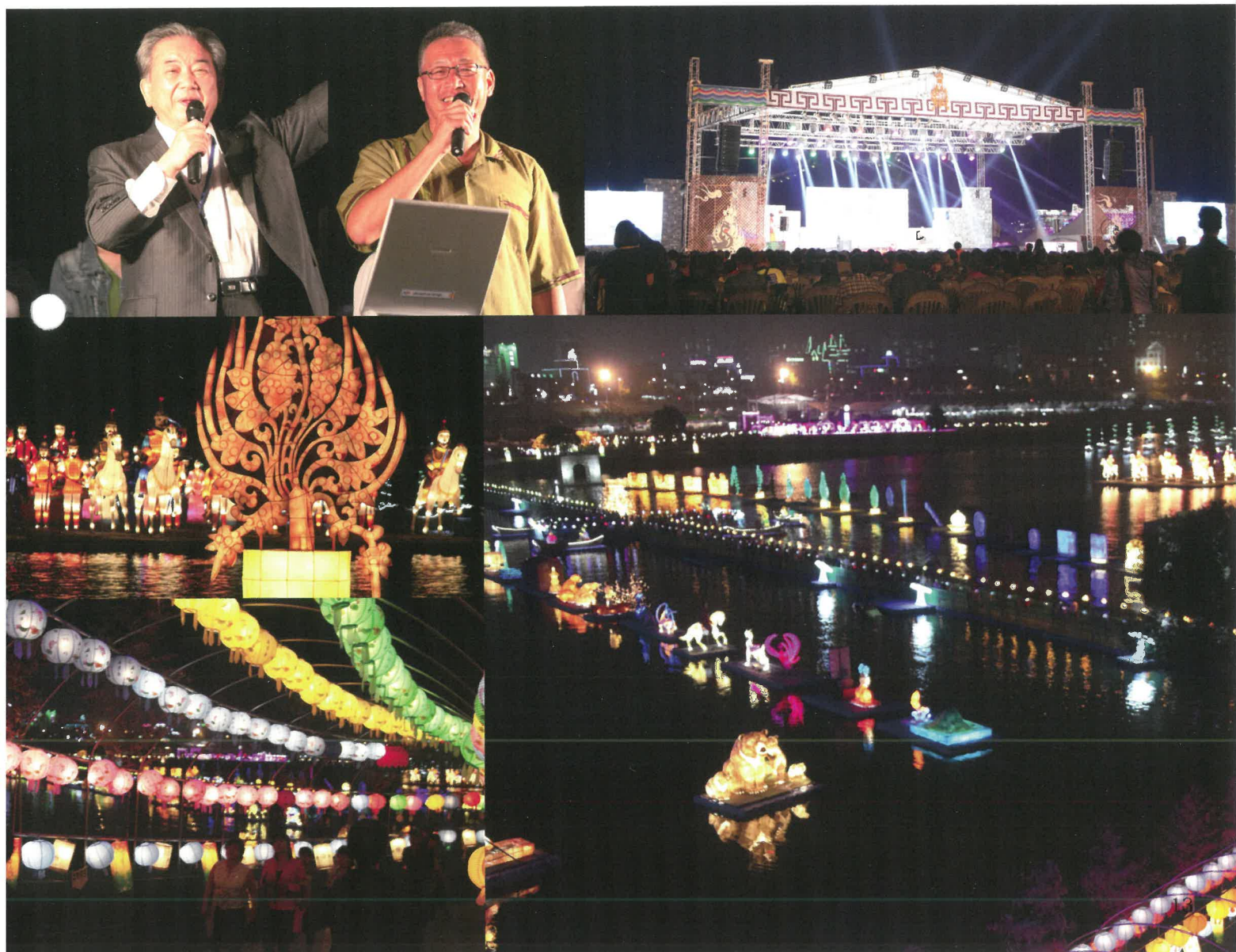
主舞台近くのレストランで夕食をいただきました。焼肉やおこげごはんなどの料理が出されました。市長は、主舞台での公演を終えた市民訪問団に対してねぎらいの言葉を掛けられました。



19:00

百済文化祭夜間展示の見学

公山城のふもとの錦江（クムガン）河岸から対岸まで作られたイルミネーションで飾られた光の浮き橋を歩いて渡りました。浮き橋や川には百済の歴史を感じ取ることができる色鮮やかなランタンが飾っており、華やかな夜の百済文化祭を楽しみました。見学途中のイベントステージでは、飛び入りで訪問団の紹介が行われることになり、ステージ上で訪問団が紹介されますと、会場の公州市民から温かい拍手が起こりました。



1泊2日の市民訪問団は

9/28

18時35分 仁川空港発 大韓航空 KEI781 便

19時55分 福岡空港着 貸切りバスにて山口市へ

9/29

9:00

石壯里（そくちゃんり）博物館の見学

韓国初の先史博物館で、1964～1992年まで12回にわたって行われた学術発掘調査を基に、石壯里遺跡の先史文化の復元はもちろん、韓国の先史文化が理解できるように体系的に比較展示した博物館です。ボランティアの方に説明をいただき、公州の先史時代の様子を詳しく知ることができました。また、旧石器研究で交流のある岩宿遺跡についての企画展のカタログなどのお土産をいただきました。



11:00

牛城面 鳳峴里 水車村（ムルレバンア マウル）を訪問

公州市郊外の特産品である栗の生産が盛んな別名「栗の村」とも呼ばれる水車村を見学しました。この村では、伝統的な葬儀の儀礼が受け継がれており、牛城面喪輿の音保存会の委員長のチャ・ギドウ様の御案内のもと、村の資料館で喪輿の音の成り立ちや、儀式で使用する道具の説明を受けました。あいにくの雨模様となりましたが、餅つきや、餅作りを体験し、焼きたての栗も頂きました。昼食は村の集会所で心のこもった手作りの料理や炭火焼肉を頂きました。お別れの際にはチャ委員長より、山口市にも私達のような村があるなら、村同士の交流をお願いしたいと、御挨拶され、市長は、草の根交流は大切であります、両市の国際交流の中で進めていきたい、と述べられました。村の皆様の温かいおもてなしの気持ちが伝わる訪問となりました。



帰国

15:30

仁川空港到着

公式訪問団：

17時25分 仁川空港発 アシアナ航空OZ136便

18時45分 福岡空港着 専用バスにて山口市へ

21時30分 市役所着 解散

市民訪問団：

18時35分 仁川空港発 大韓航空 781 便

19時55分 福岡空港着 新幹線にて山口市へ



体験記



百済文化祭に参加して

安部 美喜子

百済文化祭への参加は3度目になりました。参加の度に感心することは、沿道での歓迎ぶりが、私達をハイテンションにしてくれることです。今回、練り歩き演舞をもう少しやりたいと思いましたが、待っている間に気さくに挨拶してくださったり、変わらぬなつかしい町並にホッとしました。道路交差点ではレーザー光線やスモークなど趣向をこらした演出に感激しました。ステージ会場では、お客様が声をかけてくださったり、少なかった客席も音楽が聞こえたのか、かけつけてくださり、俄然演舞にも力が入りました。

帰り際、テントブースを通りぬけましたが、興味のわく商品がたくさん目につき、もっとゆっくり見て、手にとり、味見したいと思いました。1泊2日でしたが、スーパー、食堂、宿泊所などで、地元の方との小さな小さな交流ができうれしく思います。

今回もこのような機会を頂き、ご尽力頂いた日韓親善協会の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

百済との縁

今津 圭佑

今回、ご縁をいただき、韓国は公州市で開催された「百済文化祭」に参加しました。山口市の文化ともいえる「よさこい」の踊り子として、力いっぱい踊らせていただきました。

私は、大学進学を機に山口に住み、山口市でよさこいをはじめました。チームの皆さんは、韓国で何度も演舞したという話を楽しそうに伝えてくれていましたが、まさか自分も韓国で踊る機会をいただけるとは、思ってもいませんでした。山口市との縁、そして山口市と公州市との縁に、すごく感動しています。

百済文化祭に参加して感じたことは、2つあります。百済の歴史のすばらしさ、そして公州市の人の温かさです。

まず、百済の歴史についてです。街中にあるお城だけでなく、たくさんのお料理をいただいたこと、オンドルで温められた素敵な施設を利用できたことから、そう感じました。昔の人が大陸文化にひかれたように、今の私達も、百済の文化にひかれました。

また、公州市では、道を歩くだけで沿道から手をふってくれたり、声援を送ってくれたりする、たくさんの温かな人達の存在を知りました。アテンドをしてくれた方々もすごくよくしてくださって、公州市はいいところだな、と思いました。人が温かいところは、山口市と似ているな、と感じました。

また韓国へ行き、山口の、日本のよさを伝えるとともに、山口市の皆様にも公州市のよさを感じていただきたいです。今後の両市のますますの友好を祈念し、よさこいを続けていくことでその発展に貢献できれば幸いです。



初の海外演舞

上田 綾香

今回、私は長州よさこい連華劉眞に入って人生で初の海外演舞でした。当日になっても不安と緊張感でいっぱいでした。

一日目はパレードで正調と男ならを踊らせてもらいました。曲が鳴り始めるまで足の震えが止まりませんでした。以前は、今とは違うチームで踊り子をさせてもらっていましたが、その時の緊張感は今までにないくらいすごかったと思います。周りのお客さん達が手を振ってくれても振り返す程の余裕がありませんでした。

いざ、曲が鳴り始めるとだいぶ緊張がとけましたが、振りを間違えてしまいました。なんとか2曲目、3曲目と踊り終えていよいよ最後の演舞になりました。目の前はスポットライトで照らされていて、あまり周りが見えていませんでしたが、かなりの人がいたと思います。その中で踊り終えて、無事踊りきった安心感と初の海外演舞で私の心はとても満足でした。

その夜は、色々な方達との食事会でした。料理も初めてみるものばかりでとても楽しかったのを覚えています。それに、とても美味しいものばかりでお腹いっぱい食べました。心もお腹も満足でその夜はぐっすり眠りました。

2日目はステージでの演舞でした。私はまだ華劉眞のオリジナル曲は踊れなかったのでステージ横で見えていましたがメンバーの一人ひとりがとてもかっこよく私も早く踊れるようになりたいと思いました。ステージでは最初に男ならを踊りました。私は、そこで精一杯踊らせてもらいました。とても気持ちがよかったです。

お昼はサムゲタンを食べました。とても美味しかったです。私は1泊2日組だったのでお昼ご飯を食べて帰りましたが、もうちょっといたかったなと思いました。せっかくの海外なのに公州市の名所を見ることができなかったのが唯一の心残りですが、とても良い思い出になりました。

百済文化祭に参加して

鹿島 美雪

この度、百済文化祭に参加することになり、当初はかなり不安もありましたが、前回参加したことを思い出しながら、今回は自分なりに楽しんで参加させてもらおうと考えながら出発しました。

到着した日に、パレード参加した際には、沿道や広場の観客の方からも声援や手拍子を多くいただき、とても楽しく気持ちよく踊れました。2日目のステージ演舞では、午前中だったためか前日と違って観客も若干少なめでしたが、それでも声をかけていただき、2日間とも笑顔で踊ることができました。

また、食文化の違う中、両日共とても素晴らしいおもてなしをしていただき、懇親会においては、民族楽器での演奏も心を奪われ、楽しい時間を過ごさせていただきました。

日本文化、風習など違うことは多々ありますが、感動する心はみんな同じだということを改めて感じさせられました。

次回また、百済文化祭への参加ができたなら、違った目線で楽しみたいと思いました。

楽しい2日間をありがとうございました。



百済文化祭に参加するために公州市を訪問

川内 美悠

私は、百済文化祭でよさこいを披露するために、公州市を訪問しました。私自身、海外へ渡るのは初めてで、不安と期待でいっぱいでした。特に反日感情など、テレビで報道されているのを見たこともあって、日本人である私たちを受け入れてもらえるかと、不安は少し大きかったです。

しかし私の不安とは裏腹に、空港に着くなり「アニョハセヨ！」と現地の係の方が明るく迎えてくださり、心が不安から解かれました。

初日の道踊りでは、現地の方々が歩道から「イルボン！」と言いながら笑顔で手を振ってくださって、私たちは歓迎されているんだと心が温まりました。演舞が終わるたびにあがる声援がすごく嬉しかったです。韓国の方々の演舞も見てみたかったと思いました。

宿泊施設は、韓屋村というところで、韓国のドラマに出てくるような、オンドルという韓国式暖房がついていたり、縁側のような玄関があり、とても居心地が良かったです。栗入りのマッコリを飲んだり、韓国の料理をいただいたり、私には初めてのことばかりで、韓国の生活に触れ、とても癒されました。

歴史も学びました。国立公州博物館では、イルミネーションで見た武寧王陵の出土遺物の国宝が現物の大きさを展示してあり、日本の博物館で展示してある道具などと類似する部分もあり、歴史は昔からつながっていて、今の私たちの交流があるのだと思いました。

今回の訪問でいろんなものを見たり聞いたり、とても貴重な経験をすることができました。私たちが公州市を訪問するにあたって、たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。

初めての百済文化祭に参加して

木村 弥生

平成 26 年 9 月 27 日、28 日、公州市で百済文化祭に参加しました。

私は長州青組として、初めての参加でした。参加すると決めた時から、ワクワクと不安でいっぱいでしたが、28 日帰国した時は、行って良かった—という気持ちでいっぱいでした。

1 ヶ月間、公州市民に「YOSAKOI」という踊りを楽しんでもいただくために、一生懸命練習に励みました。

27 日は、華劉眞さんと一緒に「男なら」と「正調」を披露しました。沢山のお客さんが見てくれて、「かっこいいね」とか「ありがとう」とか声をかけてくださって、私自身すごくうれしかったです。

28 日は、それぞれが 2 曲踊りました。27 日より人数は少なかったけれど、見てくれるだけで私はすごく嬉しかったです。

1泊2日間という弾丸ツアーでしたが、最高の思い出になりました。また百済文化祭があれば、参加したいなと思っています。



百済文化祭・公州市

来嶋 省吾

まずは百済文化祭への、参加・演舞について書きたいと思います。

1日目は、スケジュールに余り余裕がなかったので若干ドタバタして用意などしながら会場入りし、旗を組み立てながら移動、パレード演舞が始まり徐々に沿道のお客が増え、いい感じになりました。予想をしていた程、演舞距離が長くなかったのが、やや残念なところでありました。そして交差点での固定演舞でのお客さんの多さにびっくり！自分自身の中で過去最高のお客さんの数の前での演舞、しかも今までに経験したことのない会場演出に驚き、テンションも最高潮に。ここでの「男なら」の演舞は今までにないくらい楽しかったです。もう少し演舞したいなあと思いつつバスに移動したのを思い出します。

2日目のステージ演舞は、昼時だったためかややお客さんが寂しかったですが、晴天の中、気持ちよく演舞できました。

次に公州市についてですが、事前に一応インターネット等で下調べをして行きましたが、思いのほか都会だったのが一番印象に残ってます。今回宿泊したハンオク村は、韓国の伝統の家屋ということで、いい体験になりましたね。特にオンドルという床暖房システムは、その時初めて知りましたし、夜中に「あつい！あつい！」と、寝言を言ってた、○越さん……面白かった。

今回は1泊2日のスケジュールで参加だったので、余りゆっくりする時間がなかったですが、大変満喫しました。ただ韓国伝統の焼肉を食べる機会がなかったのが心残りです。

今回このような機会を頂き大変有り難く思っております。次回も是非参加したいと思えます。

最高の思い出に……！

黒澤 由美

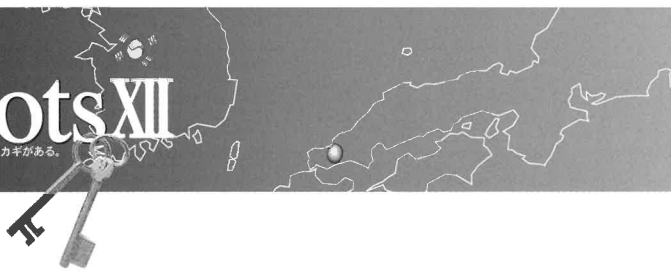
今回、私ははじめて参加させてもらいました。最高のおもてなしをしていただいたと思いました。

他の国でよさこい！！大スキな事が外国で受け入れてもらえるのかと思いましたが、日本以上に盛り上がっている気がしました。

このような大切な事に参加させてもらえた事を感謝しています。

ありがとうございました。





百済文化祭の感想

柴田 直樹

この度は百済文化祭へ参加させて頂きまして誠にありがとうございます。

僕は、長州よさこい連華劉眞として参加させていただいたのですが、初めて行かせていただいて他国とのふれあいがあるのはすごいなと思いました。山口は田舎だと言われますが、この交流会に行って確かに山口は田舎かもしれませんがすごい交流活動や本当はすごいことをしている県なんだと思いました。よさこいに関しては公州市のみなさんを楽しませることができたのか？多少不安が残ってしまっていますが、僕はやれるだけのことはしたのではないかと思います。渡辺市長をはじめとする公式訪問団の方も公州市との交流活動で疲れているにもかかわらず僕たちにおほめの言葉をかけていただいたり、ずっと笑顔でいてくれたりとすごく気を使っただいてとてもありがたかったです。さらに公州市のみなさまのおもてなしにも驚きました。

おいしい料理を出していただいたり、公州市の伝統芸能を見せていただいたりとても楽しい時間をすごせました。そして、イルミネーションも他国ならではの日本では見られないような橋全体、その下の川にわざわざ道を作ってまでしてとても驚きました。すごく歴史を大切にしている国なんだと感じました。日本では公州市、韓国ほど歴史を大切にしていない様に感じてしまうほどでした。

公州市は栗が名産らしく栗体験をさせていただきました。そこではその地方の歴史を教えてください、さらにそこに住んでいる方々からのプレゼントまでいただきました。帰る時にはわざわざ取れたての栗を焼いていただき焼き栗までいただきました。

今回僕たちが公州市の方々を楽しませるために行ったはずが、いつのまにか僕たちの方が公州市の方々に楽しませていただきました。また、山口市から多くのご支援をいただき、本当にありがとうございました。

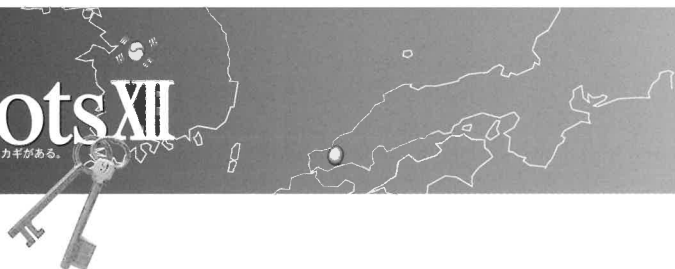
百済文化祭に参加して

柴田 わか子

百済文化祭おめでとうございます。また、山口市と公州市の姉妹都市締結 20 周年記念という素晴らしい行事に参加させていただいた事に感謝致します。

私達、長州よさこい連華劉眞は山口市を拠点として活動しております。よさこい踊りは高知県が発祥ではありますが、山口市でも多くの市民に親しまれはじめ、文化となりつつある踊りです。鳴子という鳴り物を持って踊るよさこいはチームによってカラーは様々です。特に、華劉眞は攻めの演舞を信条としており、踊り子全員で息を合わせて激しい振りが売りのチームです。また、日本の歴史をテーマとしている曲が多く、今回の曲は忍者をイメージしています。それを、今回の百済文化祭という海外で披露させていただけた事はとても喜ばしいと思います。韓国の皆様にどのように映ったのか定かではありませんが少しでも楽しんで頂けたのであれば幸いです。レセプションでの韓国の文化やそれぞれの国に合わせたご馳走に感激しました。これからも 50 年 100 年と続いていく姉妹都市提携を祈念して、私達がまた参加させて頂けるよう、これからも精進して行きたいと思います。パレードでは、沿道で公州市の方々があたたかく応援して下さいました。いつもと少し違う異国の風景を楽しみながら、日本のよさこいを踊るといふ嬉しさがありました。国をあげての百済文化祭。準備などには多くの時間と労力がかけられているんだろうなと思われる所が随所に見受けられ、素晴らしいお祭りが行われていることに韓国の皆様のすごさを感じました。次回は是非、日本で韓国の方との交流を楽しめることを期待しております。

감사합니다(ありがとうございました)



百済文化祭に参加して

岳下 詩織

今回、山口市と公州市の姉妹都市締結 20 周年記念訪問において、よさこいの踊り子として参加させていただきました。私自身、初めての韓国訪問、また、初めての海外ということもあり、参加が決定した時から楽しみでなりませんでした。

初日は、公州の韓屋村についてすぐに衣装に着がえてパレードに参加しました。観覧されている人がとても多く、道端から手を振ってくれたり、声をかけてくれて楽しく踊ることができました。踊り終わった後も拍手喝采を感じました。鳴り止まない拍手と声援を後にして、パレード終了後すぐに交流会場へ向かい、姉妹都市 4 都市での交流会に参加しました。韓国の音楽や料理でもてなしていただき、とても楽しい時間を過ごしました。

2 日目は、朝から衣装に着がえて、そのまま韓国の茶道を体験しました。日本の茶道とは違い、あまり堅苦しくはなく、楽に体験することができました。茶器にかける布の色の意味、お茶を入れる手順など、日本同様、もてなしの心が込められているなと感じました。時間が限られており、慌ただしくはありましたが、貴重な体験となりました。その後、文化祭会場に移動し、ステージで 2 曲踊らせていただきました。時間が早かったこともありお客さんはまばらでしたが、それでも温かい声援をいただいて嬉しかったです。

最終日は、山口市長始めとする公式訪問団のみなさんと行動を共にして、石壯里博物館の見学や、百済のいなか生活の体験をしました。

この 3 日間は、初めての経験がたくさんでき、普通の観光旅行では味わうことのできない体験をさせていただきました。日本とは違う韓国の文化に触れることができ、良い思い出を作ることができました。今回の訪問に参加させていただき、本当にありがとうございました。

百済文化祭に参加して

長嶋 恵美

百済文化祭への参加は今回が2回目になります。1回目の時は外国に行くのも初めてで、いろいろと緊張していたのを覚えています。しかし、今回は1回目と違い、懐かしさも加わり、1回目とは違う楽しさを味わうことができました。そして、なにより、百済文化祭を味わえたことが、すごく良い経験に繋がりました。

私は2日間の参加だったのですが、その中で1日目のパレードがすごく印象に残っています。大勢の方々が見に来てくださり、声援も温かく、気持ちもすごく高まりました。日本でもよさこいのパレードはよくありますが、日本とは、また違った感覚で印象に残っています。ただ、お客さんに呼ばれ、様々なことを聞かれたのですが、韓国語が話せず、ジェスチャーでの会話になってしまいました。精一杯に答えたのですが、単語でもいいから韓国語を覚えて行っていたら、公州市の方々に日本のこと、よさこいのことをもっと伝えられたのだろうなと感じました。あっという間に終わったパレードでしたが、楽しい一時を過ごすことができました。

2日間を通して、よさこいを踊り、様々なことを感じ、有意義な時間を過ごし、楽しい2日間となりました。韓国でよさこいを踊るということは、なかなか出来ないことなので、参加をして本当に良かったです。また、公州市の方の温かい対応に心が包まれました。



百済文化祭に参加して

中原 礼子

今回、私にとって3度目の百済文化祭参加であった。今までの参加もとても楽しく、良い思い出であった為、今回参加できるという話を聞いた時は「やったー」と喜んだのを覚えている。又あの舞台上で踊れるんだと楽しみにしていた。

実際に祭りのパレード会場に行くと、人も多く集まり賑わっていた。踊る通路に本物の馬もいて驚いた。自分達の前に熊本から来られたひょっとこ踊りのみなさんが演舞をされていた。同じ日本から来られており、又、こっけいな踊りにとても親近感を感じた。照明もきれいで雰囲気も良く笑顔でみてもらえた。自分達も楽しく気持ちよく踊ることが出来、自然と笑顔になった。

2日目のステージでは、早い時間であった為かお客さんが少なかったのが残念であった。しかし、広い会場、広いステージは素晴らしく、気持ちよく踊ることが出来た。

今回、百済文化祭に参加できたのもよさこいを続けていたお陰であるし、本当によさこいをやっていて良かったと思う。なかなか経験できることではないと思うし、毎回参加して楽しい思い出をたくさん作ることが出来ている。今回は姉妹都市締結20周年ということで、公州市との深い関わりも知ることが出来、歴史にふれることも出来た。貴重な経験をする事が出来、お世話になった皆様にとっても感謝している。

公州市百済文化祭へ再び

藤原 めぐみ

2003年に初めてパスポートを取得したのは、韓国公州市の百済文化祭へよさこい長州青組のメンバーとして参加するためでした。

今回、百済文化祭に参加してお祭りのスケールの大きさはもとより、会場の最新の舞台映像技術には驚きました。11年前は手押し車にスピーカーをつけた手作りの音響でパレードに参加したからです。

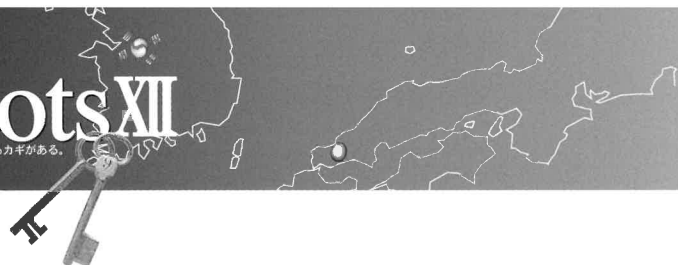
交差点で『男なら』を踊った時、山口では今まで感じたことのないような市民の皆様の歓声とあたたかい拍手は昔も今も全く変わってなくて、初めてパレードに参加してスター気分を味わったあの感動とまったく同じで、すごくうれしくなりました。

韓国の文化にふれる機会も多くあり、夜の交流会では食べきれないくらいの品数の多いおいしい料理。姉妹都市の方々のスピーチ。とても友好的で『まっこりが飲みたい』って希望も即、対応して下さりおいしいまっこりをたくさん飲みました。泊った宿はオンドルの部屋でした。暖かい方が上座という事も初めて知りました。お茶の作り方では先生のご指導のもと、自分たちで入れた美味しいお茶を頂きました。湯呑みは萩焼きと同じ土でした。韓国の文化にふれるたび私たちのご先祖様や文化は韓国からきたものかな？と感じました。

私たちに関わって下さったスタッフの方は市役所の職員さんでした。夜は遅く朝は早くから帰る間際までサポートをして下さいました。『時間外つくのかな？』『休日出勤で代休もらえるのかな？』誰からともなくそんな声が聞こえてきました。

あっという間の1泊2日の出来事でしたが、中身の濃い2日間でした。公州市の人々とふれあって、韓国の事をもっともっと知りたくなりました。

関係者の皆様、よさこい仲間に感謝します。



公州韓屋村

堀北 美津子

山口市と公州市の姉妹都市締結 20 周年、おめでとうございます。また、長州青組のよさこい踊り手として、記念式典や百済文化祭へ参加できた事を嬉しく思います。

百済文化祭には以前、山口市日韓親善協会の会員としてパレードに参加した事があります。沿道からの温かい声援や大歓迎ぶりに、横断幕を持って歩くだけでもスター気分になった記憶があります。この度よさこいの踊り手としてその感動を味わう事ができました。ただ、パレードでは前回より踊る距離が短い上、熊本和水（なごみ）町の踊りと交互だったので物足りなさを感じました。それと、事前に送ったはずの演舞曲 CD が行方不明になったり、無駄な時間が多かったり、環境の違いを感じました。でも、訪問団内の通訳の方や現地通訳の方の配慮のおかげで、公州公演はパレードもステージも大成功だったと思います。

公州市訪問 2 日間で最も印象深かったのが、『韓屋村』という宿泊施設のオンドル（温突）というシステム。韓国公州は山口市より北に位置し気温も低い為でしょう、薪をくべる床下暖房です。長屋のような宿舎は、まるで日本古来の高床式住居を想像させますが、その床下で薪をくべる仕組みになっています。原始的ですが、敷き布団を 2 枚重ねても温かさが伝わり、逆に熱いくらいでした。

翌日の演舞前には、韓屋村で公式訪問団と一緒に韓国の茶道を学びました。萩焼に似た感じの器で、味も日本のお茶とそれ程かわりないので飲みやすかったです。辛い物ばかりではないんですね。

2 日間の訪問でしたが、よさこい演舞だけでなく韓国の文化にふれる事ができて、大変良い経験になりました。どうしても言葉の壁を感じますので少しは勉強して、公州の方々に来山の際には日本人の『おもてなし』でお迎えしたいと思います。関係者の皆様、ありがとうございました。

公州市訪問

正木 領子

9月27～29日、私達は百済文化祭によさこいで参加させて頂きました。

前回、公州市を訪問したのは4年前。今回の山口市と公州市の姉妹都市締結20周年が、私にとっては2回目の参加になりました。

到着してすぐに衣装に着替え、手を振ってくれている沿道のお客さんの中をパレードし、最終地点の広場では公州市、山口市の市長を前に、沢山のお客さんに囲まれた中で、山口県の民謡「男なら」をよさこいで演舞。翌日は百済文化祭のステージで「男なら」とオリジナル曲の「崙紋」を演舞させて頂きました。

今回の訪問でとても印象に残ったのは、伝統的な韓国式家屋の街並みを再現した、韓屋村という宿泊施設でした。部屋に続く廊下は縁外になっていて、そのまま中庭に出られます。各部屋はオンドルという伝統的な床暖房になっている為、それぞれの部屋の外には煙突があるというつくりで、建物の壁には昔の生活道具がかけてあったりと、決して高級感はないけど居心地が良く、昔の韓国を少しだけ感じる事ができました。

私達が趣味でやっている、よさこいという踊りを通して、文化交流として公州を訪問し、百済文化祭に参加するという、普段なら体験することのない事が出来、沢山の方と交流できたことは、記憶に残る財産になると思います。

ちなみに、記念品としていただいた百済衣服装は、最終日の夜にみんなで着て記念写真を撮りました。

韓国は魅力満載！

山本 真佐代

初めて韓国に行きました。韓流のドラマやアーティストの活躍に憧れ、興味はあったけれどなかなか行く機会がありませんでした。今回の訪問は1泊2日の強行軍でしたが、百聞は一見にしかずで、私の韓国観は大きく変わりました。

バスでの移動中に目にしたのは、都会の高層ビルと田舎ののどかな風景のギャップでした。公州の街は昭和の雰囲気があるのに、いたるところでレーザーなどのイルミネーション！ハイテクを駆使した装飾が混在していてなんとも不思議な気分でした。城壁などの古い文化遺跡と人々の生活域が共存している。

百済文化祭のパレードでは、目の前を馬が行進していったことに驚きましたが、古い物と新しい物とが共に現役で今の時代を彩っていてそれがとても心地よく、癒される感じがしました。

ネットなどで反日のコメントをよく目にして薄っぺらなイメージが浮かんでいましたが、行ってみるとその薄っぺらなイメージは全く間違っていることを思い知りました。そこに住んでいる人について全く知らなかったんだなと気づかされました。実際に行ってみると、「イルボン！イルボン！」と声をかけ、手を振ってくださり、笑顔で迎えてくださる。よさこいの演舞に大きな拍手をいただき、人々のあったかい思いを感じました。『百済』といえば学生の頃社会の教科書で聞いたことのある地名。日本との交流があったとは学んだけれど、詳しいことは何も覚えていないことに恥ずかしい思いでした。歴史を知ることや実際に交流して肌で感じる事がとても大事なことだと改めて認識しました。私にとってお楽しみのよさこいが、公州との交流のお役にたてたならとっても嬉しく思います。お隣の国なのに知らないことが多いこともわかりました。今後の交流でもっとお近づきになれるとよいですね！朝食でいただいた牛骨スープの優しい味が今も思い出されます。

よさこいを通じて

吉村 柳太郎

この度「百済文化祭」へよさこいを通じて参加させていただきました。

山口市と公州市が姉妹提携をして20周年の記念として訪問しました。

自分個人としては4回目の訪問になります。今までの訪問と違うように感じた事は、一般訪問団として参加して自分達のやるべき事をやればそれでいいのかな？と思っていたが公式訪問団の方達と合流して、いろいろなレセプションにも参加でき、遊び感覚だけで終わる事がなかったのが嬉しかったです。

さらにお茶の入れ方、餅つきの体験など韓国の文化にふれる事ができたのも自分にとっては勉強になりました。

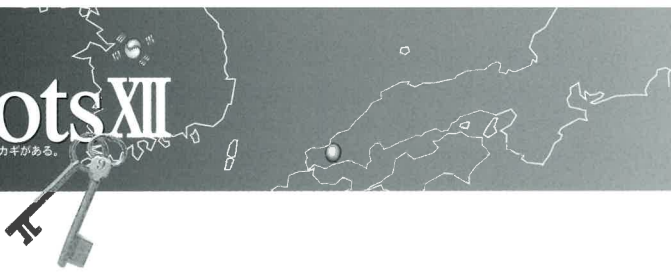
3日間を通じて韓国の食にふれる事ができたのも貴重な体験になりました。自分はよさこいという立場で参加させていただいたので演舞の事にもふれたいと思います。

初日はパレード。長い距離を練り歩き、ゴール地点では固定で演舞。とにかく沿道のお客さんの反応が良くて踊り子という立場からは、この上なく有り難かったです。報道などで日韓の事を色々と耳にするけれども本当にそれを感じさせない温かい対応がそこにはありました。

2日目の夜は公式訪問団の方達と祭りを散策しましたが賑わいもさることながら一帯を埋めつくすイルミネーションの装飾など想像を超える一体感などを肌で感じる事ができた。個人的に山口市のクリスマス事業に何か使えないか？と考えながら歩きました。

街の活性化を考えながら始めたよさこい。それがこのような形で、アジア圏ではあるが国際的交流ができるなんて思ってもいませんでした。韓国の文化、食に触れて人と交わり本当に貴重な経験、体験ができました。

趣味であるよさこいを通じてこのような体験をさせていただいた事に感謝しながら、自分達の住むこの山口をよさこいを通じてさらに盛り上げて行きたい！改めてそう思いました。



Roots

海の向こうに次代を創るカギがある。



Roots I

韓国公州市で開催された
「百済文化祭」へ参加
(2003年10月10日 参加者 149名)



Roots V

韓国公州市で開催された
「百済文化祭」へ参加
(2007年10月13日 参加者 154名)



RootsIX

鹿児島で鹿児島日韓親善協会との
交流会に参加
(2011年11月2日、3日 参加者 20名)



RootsII

山口市、防府市、平生町で
大内氏の軌跡を探訪
(2004年10月31日、11月28日 参加者 43名)



RootsVI

奈良市明日香村で百済文化を学ぶ
(2008年11月2日、3日 参加者 28名)



RootsX

大分でキリシタン大名
大友宗麟の歴史を学ぶ
(2012年11月23日、24日 参加者 15名)

大内氏の始祖が百済第26代聖明王の第三王子・琳聖太子であると伝えられていることから、1993年に山口市と公州市は姉妹都市になりました。そのルーツや歴史浪漫に思いを馳せ、さらなる友好関係を築こうと、山口市日韓親善協会では百済や大内文化に関するさまざまな研修を行っています。



RootsⅢ

宮崎県南郷村で
百済の歴史・文化にふれる
(2005年10月31日 参加者 21名)



RootsⅣ

長崎市対馬で朝鮮通信使
ゆかりの地を見学
(2006年7月22日、23日 参加者 31名)



RootsⅦ

韓国料理講習会で
韓国の食文化を学ぶ
(2009年4月19日 参加者 26名)



RootsⅧ

世界大百済展へよさこいチームと
共に招待参加
(2010年10月9日、10日、11日 参加者 38名)



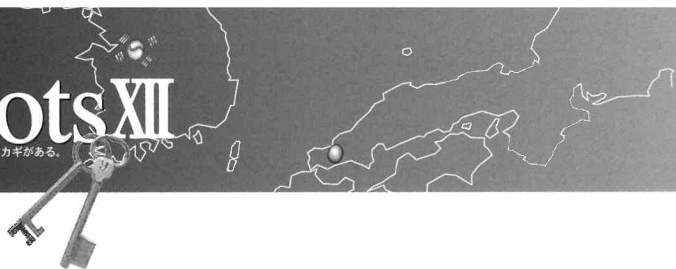
RootsⅪ

山口市・公州姉妹都市締結20周年記念式典
レセプション・演奏会・展示会・食事会
(2013年7月19日、20日 参加者 10名)



RootsⅫ

韓国公州市で開催された
「百済文化祭」へ参加
(2014年9月24日～28日 参加者 25名)



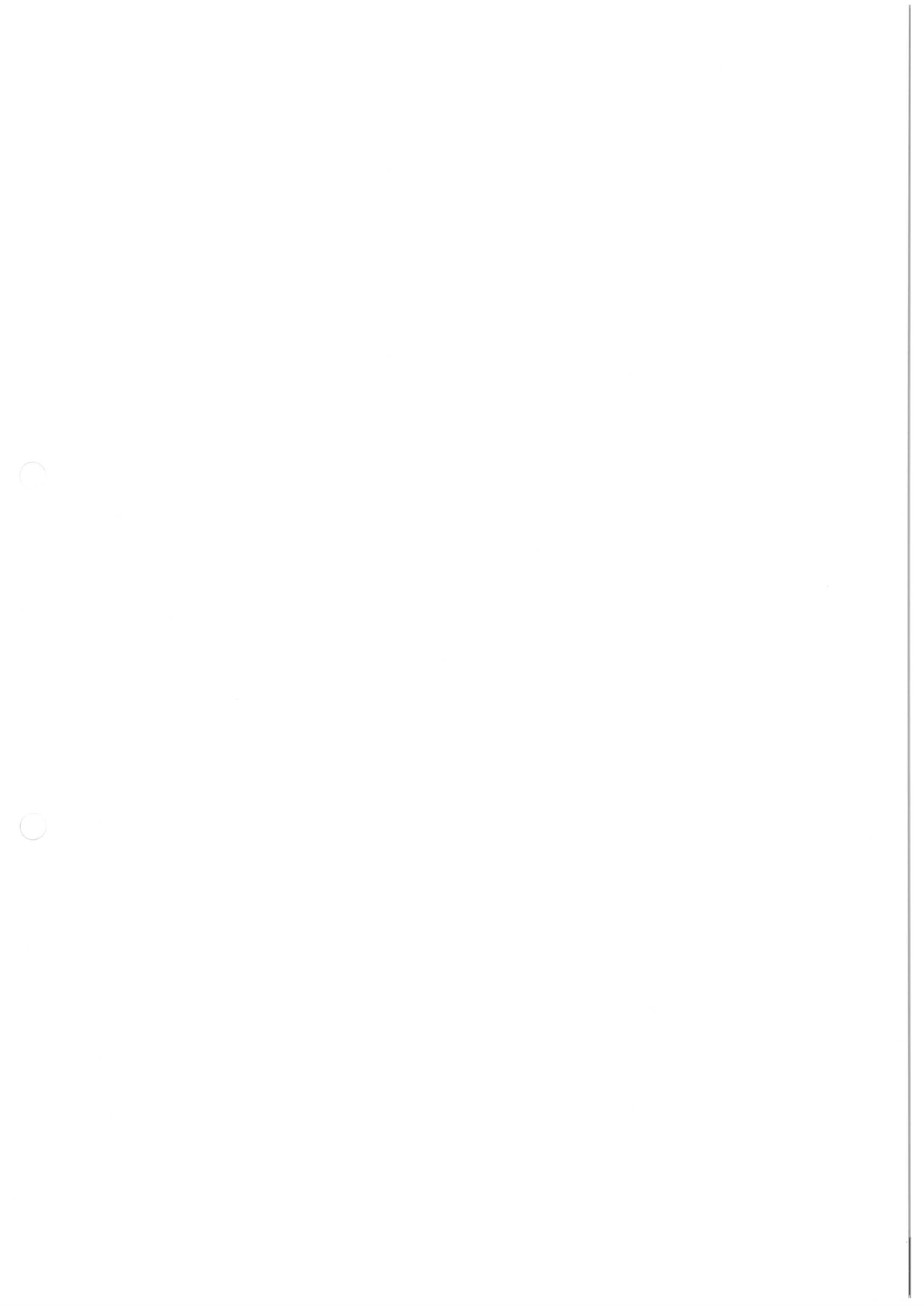
山口市・公州市 姉妹都市締結20周年 記念訪問団名簿

公式訪問団

市長	渡辺 純忠
議長	俵田 祐児
教育長	岩城 精二
総務部長	野村 和司
経済産業部長	東 洋光
市議会事務局長	村田 芳弘
秘書課長	山田 豊成
通訳	藤本 由美子
国際交流室長	森原 久
国際交流室副主幹	柳井 裕之

百済文化祭「参加実行委員会」市民訪問団

公州市訪問参加実行委員長 山口市日韓親善協会会長	多々良 健司
山口市日韓親善協会副会長	栗原 信治
山口市日韓親善協会副会長	河上 隆司
山口市日韓親善協会副会長	馬越 帝介
山口市日韓親善協会広報担当	杉本 理恵子
山口市日韓親善協会通訳担当	朴 賢珠
長州青組	安部 美喜子
長州青組	鹿島 美雪
長州青組	来嶋 省吾
長州青組	木村 弥生
長州青組	黒澤 由美
長州青組	藤原 めぐみ
長州青組	堀北 美津子
長州青組	山本 真佐代
畢劉眞	上田 彩香
畢劉眞	今津 圭佑
畢劉眞	岳下 詩織
畢劉眞	長嶋 恵美
畢劉眞	柴田 直樹
畢劉眞	正木 領子
畢劉眞	柴田 わか子
畢劉眞	中原 礼子
畢劉眞	川内 美悠
畢劉眞	吉村 柳太朗
山口市日韓親善協会事務局	浅川 剛史



Roots XII

海の向こうに次代を創る力がある。



山口市日韓親善協会
百済文化祭「参加実行委員会」
〒753-0086 山口市中市町 1-10 山口商工会議所内
TEL 083-925-2300 FAX 03-921-1555